

ねじの品質支える検査・試験機

特集 ①

各種画像検査装置

ヤマト 歩留まり率等が評価

ヤマト㈱(本社・大阪市西区九条南2-4-20、社長・水田剛彦)は、永年にならるパーツフィダーやローラー選別機のノウハウを活かし、画像処理検査装置を商品化しているが、同シリーズはそのコストパフォーマンスや歩留まり率

の高さから好評を得ている。同社は、かねてより電機や自動車関連組立てユーザー、ねじメーカーなどを対象にパーツフィダー(以下、P/F)を中心とする搬送機器や各種Aシステムを開発、販売してきた。特にP/Fに關し

ては、昭和58年の創業(ヤマト精機㈱)以来、ねじとワッシャーの組み合わせをおこなう座金組み込み用P/Fを発売・商品化したのを始め、種々小部

品用高周波P/Fやマイクロねじ専用P/Fなど、特化した用途向けの専用機種も市場投入している。

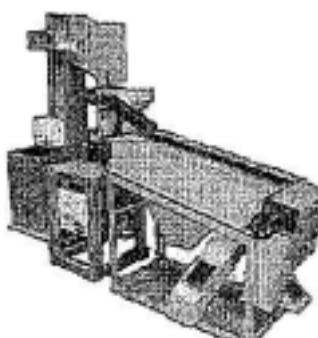
画像処理検査装置を手がけたのは約10年前で、軸の前後ではスタッドピン用やホルト用など延べ50台以上の納入実績を持つ。中でもスタッドピン用の場合、

予めP/Fのホルル内で直下の長短や軸線違い、駆動高さなどの真品選別をおこなった後、直進フィダー上でねじの有無、ねじ頭部のローレットの有無をカメラで毎分60個以上のスピードでチェックしていく機構。ワーク全てをカメラで検査する方式と違い、P/F内で、2方向からカメラに

ものだけを画像処理選別するので歩留まりが良い。またホルト用は、P/F&直進フィダーによる自動選別・供給されたワークがインテックススーパー上で並列の状態にされ、上から

より毎分100個のスピードで検査する仕組み。このほか同社ではVローラー選別機(ねじ・自動車部品などの外径選別)選別増設1/100選別の簡易選別でコストパフォーマンスに優れる)、マニアリークラスター(自動車部品の内径差の細れ検査)選別・

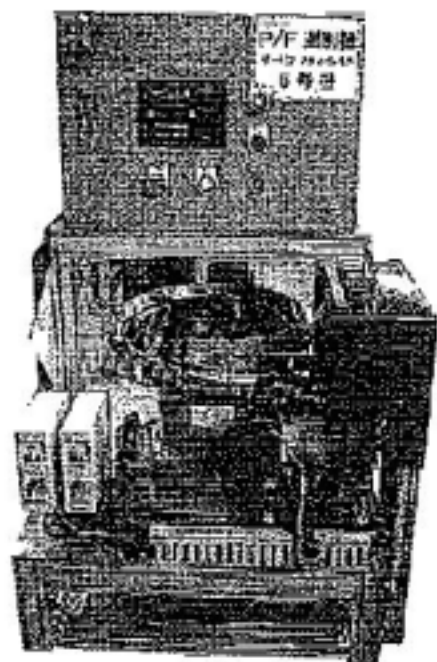
質量の2方式の、マねじ締め・トルク検査装置(チップトランシーナ)を使用し、ねじ締め・トルク状態をモニタリングなども商品化しており、いずれも営業から設計、製造、電気とモノづくり全てを社内で行っている。



ヤマトのローラー選別機。ねじの有無、ねじ頭部のローレットの有無をカメラで毎分60個以上のスピードでチェックしていく機構。ワーク全てをカメラで検査する方式と違い、P/F内で、2方向からカメラに

め、種々小部

スタッドピン用画像検査装置



歩留り率向上

納入実績50台以上

安価

● パーツフィーダーにワークを投入し、自動で整列・供給を行い直進フィーダー上にて、ネジ有無・ネジ頭部のローレット有無等を毎分60個以上の処理能力をカメラで画像検査します。

首下長短・軸径違い・頭部高さなどの異品選別は、パーツフィーダーのポウル内にて選別を行います。

技術の **YAMATO** がご提供する画像検査装置には、このほかボルト用もあり、お客様のワーク・サイズに応じた対応が可能です。

YAMATO

URL <http://www.yamatoceo.co.jp>

ヤマト株式会社

本社/TEL:06-6584-1130 北陸/TEL:076-248-1005
関東/TEL:046-238-6768 秋田/TEL:0184-22-7957
中国・韓国・台湾